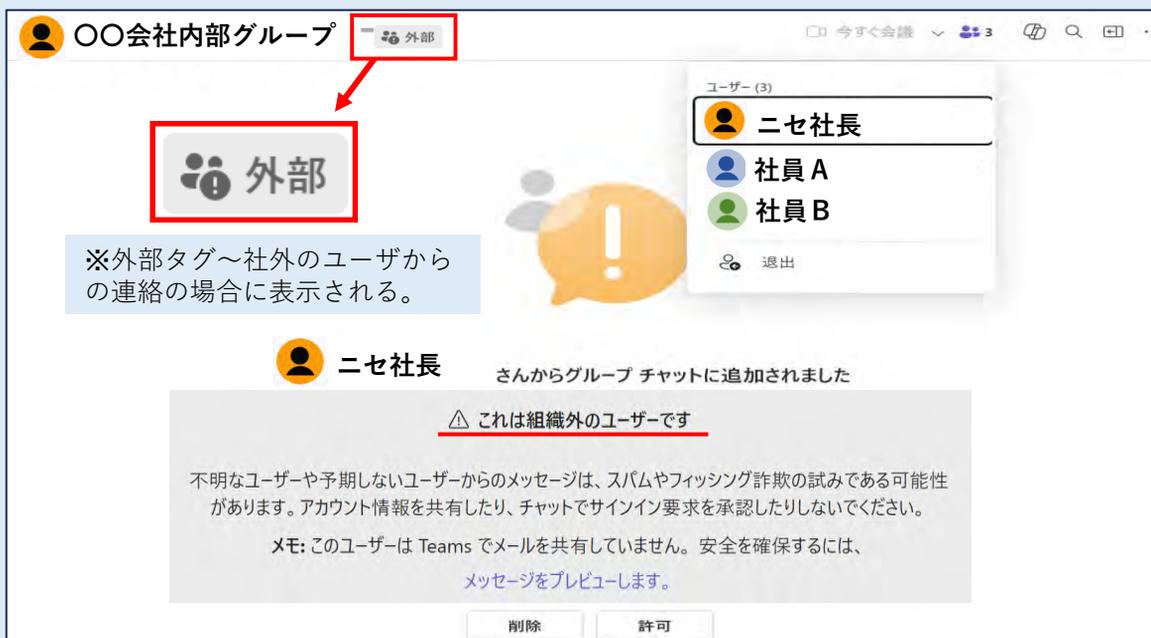


社長などの役員をかたるビジネスチャットに注意

昨年末頃から、会社の社長などをかたり、業務命令を装って、LINEグループの作成を要求した上で、指定の口座に送金させる「ビジネスメール詐欺」が確認されていましたが、今回新たに「Microsoft Teams」を悪用した事例が確認されましたので、注意をお願いします。

< 新たに確認された事例 >

- ① 攻撃者側がターゲットとなる会社の社長名などをかたり、Teamsのグループチャットを作成
- ② 従業員のメールアドレスに対し、社長などの役員になりすまし、グループへの招待チャットを送信



ニセ社長

【チャットへの招待メッセージ例】

ニセ社長

今、会社にいますか？

本日より業務連絡を円滑に進めるため、本グループを作成しました。今後はこちらで連絡・共有を行いますので、よろしくお願いいたします。

【 不審チャットへの対策 】

- ◆ 社長などの役員をかたった不審チャットの手口について社内全体に注意喚起
- ◆ Teamsに限らず、他のチャットツールについても同種手口について警戒する
- ◆ ツール上の設定で、必要に応じて外部とのチャット機能に制限を設ける
- ◆ アカウントの表示名だけで信用せず、不審なチャットを受信した場合には、別の確実な手段で差出人に確認する
- ◆ アカウントのID・パスワード管理を徹底する（アカウント乗っ取り被害の防止）

※ Microsoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

